

事業 1	ものづくり基本計画	(方針1) 企業の誘致と留置の推進		平成28年度					
	事業名	(事業1) 企業立地の推進		予算額	492,000千円				
				決算見込額	391,713千円				
	事業概要	取組状況	H29.3.1 現在	<p>企業の誘致と留置の推進については、すでに策定済みの「静岡市企業立地戦略指針」や企業立地促進法に基づく「静岡市地域の基本計画」を進めるとともに、事業者の抱える課題等を把握していきます。また、企業に対しては、遊休用地・設備等の再編をはじめ、市内における事業継続、新規立地を促す情報提供及びPR活動のほか、優遇策の提供により、市内企業の留置と市外からの新規誘致を積極的に進めます。</p> <p>特に、広域交通インフラを活かした物流関連産業の立地促進、都市機能の集積を活かした都市型関連産業の立地促進、そして第2次静岡市産業振興プランに掲げた戦略産業の立地促進などを実施していきます。</p> <p>さらに、企業立地用地の確保の推進については、民間による開発促進に向けた支援の拡充のほか、公共による開発を含めた用地確保を検討します。</p>	<p>市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。</p> <p>市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。</p> <p>工場立地や事務所賃借に対しての助成制度拡充のほか、地域再生計画に基づく「地方活力向上地域特定業務施設整備計画」の認定支援を行うことにより、助成制度活用を促している。</p> <p>・新規企業立地件数 43件 ・市内企業訪問 509件 ・市外企業訪問 141件 ・企業立地相談件数 168件</p>				
						進捗率等	H29.3.31 現在	(新規企業立地件数) H28/43件	252 (%)
							補足事項	<p>■新規企業立地件数 43件</p> <p>市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。</p> <p>市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。</p> <p>工場立地や事務所賃借に対しての助成制度拡充のほか、地域再生計画に基づく「地方活力向上地域特定業務施設整備計画」の認定支援を行うことにより、助成制度活用を促している。</p> <p>(参考事項)</p> <p>・市内企業訪問 509件 ・市外企業訪問 141件 ・企業立地相談件数 168件</p>	
	成果目標	新規企業立地件数 17件/年 (静岡市地域基本計画) 平成25～29年度 85件/ 5年		事業結果	<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p> <p>工場立地の大規模投資案件の増加に向けて、業務の適正化及び効率化を図るため、補助制度及び交付事務手続きの見直しを行う。</p>				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化						
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進						
		中施策	①企業の誘致と留置の促進						
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	事業評価						
	基本方針	(2) 物流クラスターの強化 ※1 (3) 企業等の誘致・留置 ※2							
	基本施策	※1 ③低・未利用地の活用促進 ※2 ①県外企業等の誘致の推進 ②市内企業等の留置の推進							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)						

事業 2	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援 (異業種交流支援を含む)		平成28年度				
	事業名	(事業2) 全国規模等の見本市への出展助成		予算額	13,900 千円			
				決算見込額	13,900 千円			
	事業概要	<p>市内の中小製造事業者が、販路を開拓し、製品の販売促進に向けて、市内外で開催される全国規模、または国際的な展示会や見本市等に出展又は開催する経費のうち、小間料等を助成します。</p> <p>助成内容の拡充については、助成に基づく成約額等の実績などを考慮しながら検討していきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■補助申請件数及び執行額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助申請件数 51件 ・執行額 13,311千円 		
					補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在	<p>交付決定企業数 51件</p> <p style="text-align: right;">93 (%)</p>
							H29.3.31 現在	<p>補助金利用企業数 53件</p> <p style="text-align: right;">96 (%)</p>
	成果目標	全国規模展示会等への出展・開催件数 55件/年		事業結果	<p>■申請件数：53件 執行額：13,900千円</p> <p>■申請企業数はほぼ平年並み、執行率は満額となった。</p> <p>■当補助金を利用した53社の内、海外展示会への出展を行った企業数は4社、また新規利用が9社あり、補助金についても周知が図られている。</p> <p>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p> <p>■9月時点で予算がほぼ満額執行となるため、その後展示会出展を検討する企業が利用できないケースが出てきている。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の未達成理由等 	<p>■年度末に出展を予定する申請者に対しても、本助成制度を活用できるよう、申請受付期間については引き続き2期に分けて行う。</p> <p>■初めて展示会に出展する企業の後押しをする等の本補助金の趣旨を踏まえ、出展回数に応じ補助金額を変動させる制度変更を実施する。</p>	
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援					
産業振興プラン位置付け	基本方向							
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)					

事業 3-1	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成28年度		
	事業名	(事業3)首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-1)特産品東京展示会事業		予算額	4,601千円	
				決算額	4,597千円	
	事業概要	この事業は、首都圏の商業施設等(東京丸の内KITTEやJR新宿駅構内のイベントコーナーなど)において、本市特産品の展示販売のほか、職人による実演等を実施し、伝統的工芸品を含む地場産品の販売促進に取り組みます。 また、展示会事業では、展示販売だけでなく、バイヤーを招いて商談機会を設けるなど、更なる販売促進に結び付ける取組も実施していきます。 開催会場については、本市地場産業にとって、収益性の向上等の効果が見込める会場を検討して選定します。		取組状況	H28.9.1 現在	■10月19日~21日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした、本市地場産品等の販売を予定している。伝統工芸実演ではクラフトマン事業利用者を採用し「井川メンパ」の実演を予定している。また、しずまえとコラボレーションすることで従来の地場産品だけでなく、広く本市をPRする。
				進捗率等	H28.9.1 現在	0円 0(%)
				補足事項	H29.3.31 現在	613万円 123(%)
	成果目標	会場売上金額(万円) 500万円/年(2,000万円/4年)		事業結果	■10月19日~21日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした、本市地場産品等の販売を実施。伝統工芸実演ではクラフトマン事業利用者を採用し「井川メンパ」の実演を行った。また、しずまえとコラボレーションすることで従来の地場産品だけでなく、広く本市をPRできた。各職人の丁寧な接客で展示後の商談にもつながり、大きな成果を得ることができた。 期間中の来場者数 約13,795人 期間中の売上額 約6,134千円	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	産業振興プラン位置付け	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■当展示会は15回目をむかえ、来場者は1/3以上がリピーターで首都圏に定着してきたと言える。しかしながら約2割の方は静岡市の工芸品を知らないと回答しており、工芸品のPRを強化することが課題である。 ■来場者の約8割は50代以上の年配者であり、若者世代にも来場していただく工夫が必要である。 ■静岡ならではの企画展の開催や、デジタルサイネージ、facebook等電子情報媒体を活用していくことで幅広い年齢層の方へ来場していただき、また出店者の配置を確認し、引き続き売上増を目指していく。
政策方針		商工・物流				
大施策		世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業 3-2	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(興業種交流支援を含む)		平成28年度			
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業		予算額	78,428千円		
				決算見込額	76,466千円		
	事業概要	<p>ホビーのまち静岡の推進を図る中では、本市の特長であるプラスチックモデル産業を基盤としながらも、今後は、クリエイティブ、アート、コンテンツ等とホビー産業の関連分野との新たな連携や融合に取り組んで、ホビー関連産業の裾野拡大に努めます。</p> <p>こうしたホビー関連産業の広がりに向けては、動画配信のほか、首都圏の商業施設等において、PR活動等を継続的に実施し、更なる顧客の拡大や新たな購買層の獲得に結び付けていきます。</p> <p>このような裾野拡大やPR活動等の継続的な実施により、多くの方々に「静岡市に行けば、一生楽しめる趣味が見つかる」や、「ホビーと聞けば、即座に静岡市をイメージする」と認識していただけるように努めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1現在	<p>下記のとおり首都圏においてプロモーションイベントを開催した。</p> <p>名称:首都圏PR ホビーのまち静岡inららぽーと豊洲 期間:平成28年5月3日~4日(2日間) 会場:ららぽーと豊洲1Fセンターポートイベントスペース 概要:ホビー推進協議会静岡の各メーカーの製品展示、プラモデル工作体験を中心とした「ホビーのまち静岡」及び「静岡ホビーショー」のPRを行った。 来場客数:10,000人</p>	
				進捗率等	H28.9.1現在	152,132人	63(%)
				補足事項	H29.3.31現在	257,807人	106(%)
	成果目標	関連施設・イベント入込客数 (現状 212千人/目標 H30 223千人) (H27 216千人/H28 219千人/H29 221千人)		事業結果	<p>下記のとおりプロモーション事業を行った。</p> <p>■首都圏PR(第1回目) 名称:ホビーのまち静岡inららぽーと豊洲 期間:平成28年5月3日~4日(2日間) 会場:ららぽーと豊洲1F センターポートイベントスペース 来場客数:10,000人</p> <p>■首都圏PR(第2回目) 名称:ホビーのまち静岡inイオンレイクタウン 期間:平成29年1月28日~29日(2日間) 会場:レイクタウンmori 1F 木の広場(埼玉県越谷市) 来場客数:10,000人</p> <p>■小田急電鉄広告掲載 掲載枚数:中刷り広告 2,000枚(全車両)/駅貼りポスター 70枚(全駅) 掲載期間:中吊り広告 4日間/駅貼りポスター 2週間</p> <p>■ホビーのまち静岡 動画配信 概要:ホビーのまち静岡の歴史やイベントを紹介するPV(H27年度作成)をyoutubeやホビースクエアHPで動画を配信した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>①首都圏PRはより効果的なイベント内容及び来場者が静岡市を感じられるような会場レイアウト作りを検討する。</p> <p>②各プロモーション事業を実施したことによる効果を検証し、次年度以降の施策に反映していく。</p>	
	産業振興プラン位置付け	大施策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
		中施策	戦略産業の育成・集積を推進				
基本方針		戦略産業の振興					
基本方針	観光・ブランド産業	基本施策	ホビー産業育成支援事業				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 3-3	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成28年度		
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-3) しずおか葵プレミアム認証事業		予算額	2,717千円	
				決算見込額	1,763千円	
	事業概要	この事業では、本市ならではの魅力を生かした認証品の販売支援等を通じて、認証事業者の収益向上に努めるとともに、消費者に本市を思い描いてもらう認証品づくりについて、認証事業者、ブランド認証専門委員、関連事業者、市が連携を図りながら実施していきます。 具体的には、バイヤーを含むブランド認証専門委員による認証品の販売促進に向けた販路の選定や、大消費地である首都圏等の商業施設等を想定した販売促進を支援します。 さらに、その内容を踏まえて新規認証再開に向けた制度設計の検討を行い、新たなステージでの事業推進に取り組んでいきます。		取組状況	H28.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■展示販売関係 ・第60回静岡まつり 4月1日～4月3日 ・静岡ホビーショー 5月12日～5月15日 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 5月12日～5月18日 ・新東名静岡SA「しずおかマルシェ」での企画展 8月6日～8月14日
				補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在
	成果目標	展示即売会	11回/年			<ul style="list-style-type: none"> ■展示販売関係 ・第60回静岡まつり: 4月1日～4月3日 ・静岡ホビーショー: 5月12日～15日 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」: 5月12日～18日 ・新東名静岡SA「しずおかマルシェ」での企画展: 8月6日～8月14日 ・しんきんフェア: 10月12日 ・産業フェア: 11月26日～27日 ・静岡交流会in東京: 12月14日 ・駿府匠宿工芸館「しずおか葵プレミアム展」: 12月23日～1月22日 ・ペガサート地下展示: 1月22日～4月28日 ・鞠子楽市「しずおか葵プレミアム展」: 1月26日～2月7日 ・「しずおかセレクション」in新東名静岡SA: 2月10日～4月6日 ・松坂屋静岡店開店85周年記念企画×しずおか葵 プレミアム: 3月15日～3月21日 ・ドリプラ販売会: 3月25日～26日
	総合計画の位置付け(分野別)	分野別	商工・物流分野		事業結果	
		政策	政策2. 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	施策1. 新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	分野別	商工・物流分野		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■H29年度は新たに「市民が選ぶ静岡市逸品『しずおか葵プレミアム・アワード』』としてリニューアルし、事業を推進していく。 【主な変更点】 ①市民投票の実施 (従来) 専門家による審査のみ → 審査の過程に「市民投票」を導入 ②2年に1度の選定 (従来) 認証商品の選定 毎年 → 2年に1度 ※「2年1クール」のスキーム(1年目は認証、2年目はその商品をPR・支援)</p>
政策		政策2. 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策		施策1. 新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 海洋産業イノベーション推進係		その他(特記事項)			

事業 4	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成28年度		
	事業名	(事業4)中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援		予算額	76千円	
				決算見込額	11千円	
	事業概要	中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援については、新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信及びビジネスマッチングの機会提供を推進します。		取組状況	H28.9.1現在	■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア 平成28年10月6日～7日 募集終了 参加企業1社 ・おた工業フェア 平成29年2月2日～4日 募集予定1社
					補足事項	進捗率等
	H29.3.31現在	(支援事業への参加企業数) H28 / 1社 計 / 1社 50(%)				
	成果目標	おた研究・開発フェア及びおた工業フェアの出展企業数 2社/年		事業評価	事業結果	■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア(東京都大田区) 平成28年10月6～7日 出展企業1社 ・おた工業フェア(東京都大田区) 平成29年2月2～4日 出展企業なし
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	産業振興プラン位置付け	施策1	新市場・販路開拓に対する支援	次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等	■市内オンリーワン・ナンバーワン企業の発掘とその技術や製品の情報収集に向け、積極的に企業訪問を継続する。 ■市内中小製造事業所が持つ高い技術力の効果的なPRに繋げるような展示会等についての情報を広く集め、事業所に対し発信していくとともに、東京都大田区で実施される本展示会以外の展示会への出展等についても検討する。	
分野						
政策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援（異業種交流支援を含む）		平成28年度				
事業名	(事業5) 地場産品の販路開拓と販売促進		予算額	23,214千円				
			決算額	22,701千円				
事業概要	<p>この事業では、伝統工芸創造部会の提言等に基づいて、次に掲げる5つのポイントのもとで、伝統的工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を検討して事業化を進め、地場産業関連事業者の収益性の向上に努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充実化 ■(事業5-2) 海外における地場産品の販路開拓 ■(事業5-3) インターネットの活用による地場産品の販売促進 ■(事業5-4) 問屋的機能の再興に向けた検討 ■(事業5-5) 地場産品販売拠点の充実化 <p>伝統的工芸品を含む地場産品については、販路開拓と販売促進に関する課題を抱えているため、顧客のニーズを把握した上で、展示販売会の充実をはじめ、海外販路の開拓、インターネットを活用した販売促進に向けた支援を展開します。</p> <p>また、地場産品の販売拠点であるJR静岡駅構内の駿府楽市については、観光事業担当課などとも連携し、観光客の来店を促す特典等を検討するなど、これまで以上に販売を促進させる取組を推進していきます。</p> <p>さらに、伝統的工芸品については、売上げが見込める商品づくりに努めていきます。</p> <p>そのためには、首都圏等におけるテストマーケティングの実施をはじめ、顧客ニーズに関する情報を的確に伝統工芸職人に伝えるなど、消費者と生産者を結びとるに、伝統工芸分野の収益性を高める問屋的機能の再興を検討していきます。</p>		取組状況	H28.9.1現在	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会開催による販路拡大を行う ■海外展示会において、静岡市の工芸品を展示し販路開拓予定 ■駿府楽市との定例検討会の実施 5回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間27回の展示会を開催予定、内現在までに12展示会を実施した。 <p>4/1~8/31までの来場者数 158,300人</p>			
				進捗率等	H28.9.1現在	<p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 12回 44.4%</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 15.8万人 38.1%</p>		
			成果目標	<p>(5-1) 各展示販売会来場者数 270,000人</p> <p>(5-2) (海外に向けた) 開発と販路等の検討</p> <p>(5-3) 駿府楽市Webページ改修(済)</p> <p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 41.5万人</p>		H29.3.31現在	<p>(5-1) 各展示販売会来場者数 274,423人 101.6%</p> <p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回 100.0%</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 41万人 98.8%</p>	
			総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会の入場者数 274,423人 ■ドイツの世界最大規模の国際消費財見本市における静岡市の工芸品(静岡挽物)の開発品及び既存商品の展示を行い、海外バイヤー等の反応を確認した。会場:アンビエンテ 期日:平成29年2月 ■駿府楽市と業界、市の検討会の実施 27回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間27回の展示会を開催した。年間来場者数 413,180人 	
				大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進							
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達理由等</p> <ul style="list-style-type: none"> ■海外展示会においては、バイヤー等の反応により展開の可能性を引き続き探索していく。 ■駿府楽市との定例検討会は実施できているが、これに業界を交えた問屋的機能に絞った会合等を検討していく。 ■駿府楽市の静岡市特産品展示コーナーの展示会は引き続き継続していき、より一層の来場者の向上を目指す。 ■駅楽市は平成3年の開店から内装の改装が行われていない。店舗部分と合わせ展示コーナーのリニューアルを検討する必要がある。 				
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)					

事業 6	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度			
	事業名	(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関する検討		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>地場製品の開発や販促をはじめ、地場産業界の競争力強化に関しては、新たな進展を図るため、製造事業者の集積機関である新産業開発振興機構との連携促進に向けて検討を進めます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を推し進めていく。</p> <p>■機構が有する多様な経営資源のなかから、どのような分野が伝統工芸とマッチングできるかを調整していく。</p> <p>■地場産業企業と連携について協議を開始した。</p>	
					進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
						H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討		事業評価	事業結果	<p>■静岡商工会議所機構事務局と連携し、大学及び業界団体のマッチング可能性を調査したが、マッチングには結びつかなかった。</p> <p>■地場産業企業との協議を実施したが、同機構のノウハウ活用までは至らなかった。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を検討し推し進めていく。</p> <p>■地場産業団体に対し、引き続き大学等との連携希望について調査していく。</p>			
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業 7	ものづくり 基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度		
	事業名	(事業7) 中小企業技術開発支援事業		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	<p>この事業では、中小製造事業者や業界団体等を訪問し、開発や生産技術等に関する課題などを把握した上で支援テーマを設定し、中小製造事業者の生産活動を支援していきます。</p> <p>初年度である平成26年度には3Dプリンタをテーマに設定し、セミナーの開催や、市・事業者で組織された研究会を通じて、商品開発を支援する仕組み作り等について検討を進めています。</p> <p>今後は、県や関係機関との連携を強化しながら、3Dプリンタや、知的財産を利用した技術開発事業を検討し、引き続き、中小製造事業者に対する生産活動を支援していきます。</p>	取組状況	H28.9.1 現在	<p>■3Dプリンタの利活用を希望する事業者からの相談があった際は、機器や訓練コースを備える清水テクノカレッジ（静岡県立清水技術専門学校）等の専門機関への橋渡しを行った。</p>	
			進捗率等	H28.9.1 現在		0(%)
				H29.3.31 現在		(支援件数) 1件 100(%)
	成果目標	研究会、セミナー等参加者への支援件数 1件/年		事業 評価	事業結果	<p>■3DCAD技術の習得についての相談を受けた企業(1社)については、技術訓練校の職業支援の枠組みについて紹介を行い、利用を促す等の支援を実施した。</p>
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■3Dプリンタや3DCADに興味がある市内中小企業の相談に対して、各支援機関等と連携して支援が行えるような体制を引き続き維持する。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 8	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度			
	事業名	(事業8) 若手グループの商品開発支援(ものづくり相談・支援)		予算額	975千円		
				決算見込額	841千円		
	事業概要	この事業では、市内地場産業の活性化に向けて、デザイン、加工技術、経営等に関する各種講演会や講習会のほか、事業者のニーズに基づいて、実務経験等が豊富な人材を派遣し、地場産業関連事業者を支援します。		取組状況	H28.9.1現在	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 5回(計8回予定) ■販路開拓講演会の開催 販路開拓講演会0回(1回予定) ■商品開発支援事業の実施 漆器商品開発研究会(1回)(2回予定) ■産学連携技術指導講演会の実施 商品開発指導0回(1回予定) 	
						補足事項	進捗率等
	H29.3.31現在	講習会、講演会、指導会開催回数 11回 367(%)					
	成果目標	講演会、指導会等の開催回数 3回		事業結果	事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 8回 ■販路開拓講演会の開催 販路開拓講演会 1回 「ドイツで売れるものづくりへの挑戦」(鈴木里美氏) ■商品開発支援事業の実施 漆器商品開発研究会 1回 「乾漆研究会」 ■産学連携技術指導講演会の実施 商品開発指導 1回 「静岡地域産業のこれからについて」(五十嵐久枝氏) 	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■漆器商品流通化の実施 乾漆を中心とした漆器商品開発については開発段階は進捗しており、専門家指導により商品化をめざし継続していく。
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	<ul style="list-style-type: none"> ■漆器商品流通化の実施 乾漆を中心とした漆器商品開発については開発段階は進捗しており、専門家指導により商品化をめざし継続していく。 				
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度		
事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェクト事業	予算額	指定管理料88,348千円の一部 千円			
		決算見込額	指定管理料88,348千円の一部 千円			
事業概要	商品企画や開発支援では、産学交流支援センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を生かした商品づくりを支援します。	取組状況	H28.9.1 現在	【「静岡おみやプロジェクト商品開発講座・個別相談会」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成28年6月28日～平成29年3月末 ・上限枠 6社 ・8月25日おみやプロジェクト勉強会(調味戦略)を開催 「リピーターを増やす調味戦略」及び「パッケージデザインの評価」についての講座を実施した。 【今後の予定】 ・9/15商品企画書発表・試作品確認を行う予定 ・10/20県内バイヤーによる試食評価会開催予定 ・11/26・27産業フェアにてテストマーケティングを行う予定		
			進捗率等	H28.9.1 現在	商品化件数 0件	0 (%)
補足事項		H29.3.31 現在		商品化件数 6件	100 (%)	
成果目標	商品化件数 6件/年		事業結果	【「静岡おみやプロジェクト商品開発講座・個別相談会」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成28年6月28日～平成29年3月末 ・参加企業数 6社 ・マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 ・11/26・27 テストマーケティング実施 ・3/8 成果発表会実施 ・3/25・26 お披露目販売会実施		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 ・本講座の内容では、参加事業者の商品化への意欲にバラつきが発生し、確実に商品化までフォローすることが難しかった	
	大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進				
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	その他(特記事項)			
	基本方針	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	基本施策	01 戦略産業の育成・集積を推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係					

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度		
	事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-2) 新商品・特許事業		予算額	6,150千円	
				決算見込額	5,798千円	
	事業概要	市内中小製造事業者が取り組む新商品の開発及び特許等の産業財産権の取得などについては、その出願経費の一部を助成します。 なお、新商品開発の経費助成については、本市産業経済の牽引が期待される産業に関して、産業振興プランに掲げる戦略産業の事業者を対象に助成内容の拡充について検討します。		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理している。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付決定額:4,000千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 9月1日現在、補助金交付申請件数は14件となっている。特許:5件、意匠:1件、実用新案:1件、商標:7件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付決定額:1,196千円)</p>
					補足事項	進捗率等
	H29.3.31 現在	<p>新商品開発及び産業財産権出願等の件数 27件 (内訳) 新商品助成件数 4件 産業財産権助成件数 23件</p> <p>108 (%)</p>				
	成果目標	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 25件/年		事業評価	事業結果	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理した。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題点等はあったものの、順調に開発を進めており、交付決定した4社全て、年度内に開発を終えることができた。(交付金額:3,670千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 年度末までに次のとおりの交付申請があった。 申請件数 23件 (内訳) 特許 9件、意匠 2件、実用新案 1件、商標 11件 (交付金額:2,128千円)</p> <p>■事業の周知活動 市内金融機関等の各関係企業、団体への訪問や会議についての説明を通じて、本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めた。</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新商品・技術開発等に対する支援			
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■新商品等開発助成については、前年度本補助金を利用した企業に対するヒアリングを行い、開発した商品の現況を把握する。課題等がある場合は、解決に結び付くよう支援を検討する。</p> <p>■両事業共に、他の団体及び支援制度等との連動を意識し、より効果的に支援が出来る施策となるよう検討したい。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度			
	事業名	(事業10) アーティストとの コラボレーション支援推進 (ニューウェーブしずおか創造 事業)		予算額	6,437 千円		
				決算見込額	6,146 千円		
	事業概要	この事業では、本市の特色を 生かして開発される家具等の新 商品開発と新規の流通開拓を支 援します。 具体的には、意欲ある企業に よる研究会の立ち上げのほか、 事業者とデザイナー等との協働 によって開発された商品を流通 市場で広くPRすることで販売 促進を支援します。		取組 状況	H28.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> 参加者募集とデザイナー公募によるデザイン開発 新たに参加企業を募集しデザイナーを公募。デザイ ナーと協同しデザイン開発を行い試作を行った。 商品試作とリデザイン デザイン開発された商品を試作中。プロデューサー 指導のもとリデザインを実施予定。 展示会への出展(予定) 東京インターナショナルギフトショー」に出展予 定。各種PRツールを作成し、商品化を模索する。 	
				進捗 率等	H28.9.1 現在	0 (%)	
				補足 事項	H29.3.31 現在	(開発点数) 平成28年度 41点 205 (%)	
	成果目標	開発点数 各年度 20点		事業 結果	<ul style="list-style-type: none"> 事業参加者及びデザイナーの各チームの決定 意欲ある事業所を募り、参加7者が公募デザイナー6名を選出し、プロ デューサー指導のもと協議を行った。 デザイン開発 各チームごとに協議を繰り返し、ビジョンの策定とそれに基づくデザイ ン開発を行った。 試作とリデザインによる製品試作 デザイン図面に基づき、試作を行い、必要に応じリデザインや再試作 等を実施し、プロトタイプを開発した。 販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成。HP等で展示会等につい て告知を行いPRに努めた。 展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展。多数の来場者の 反応を確かめ、営業活動を行った。 商品化の模索 商品修正及び小売店等での小規模展示を実施。各展示会出展等 での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施し た。 		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	商工・物流		事業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	
		大 施策	世界・全国に挑戦する中小企 業の振興を図ります				
		中 施策	新製品・技術開発等に対する 支援				
産業振興 プラン 位置付け	政策 方針	商工・物流		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<ul style="list-style-type: none"> 改善点等 流通化率をより高めるため、首都圏での見本市出展 に加えて、小売店出展や小規模展示会等により、市場 への展開を多面化する。 		
	大 施策	世界・全国に挑戦する中小企 業の振興を図ります					
	中 施策	新製品・技術開発等に対する 支援					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度		
	事業名	(事業11) 地域課題に係る産学共同研究への支援		予算額	指定管理料88,348千円の一部	千円
				決算見込額	指定管理料88,348千円の一部	千円
	事業概要	この事業は、経済環境の変化によって生じる高度で複合的な地域課題を解決するため、地域の産業界をはじめ、新産業開発振興機構などが大学の知見・人材・分析能力を生かし、共同で取り組む調査研究を支援します。		取組状況	H28.9.1 現在	<p>【産学交流センター】</p> <p>■地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 8件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規な燻製レトルト黒はんぺんの開発 ・竹粉の乳酸発酵技術の開発及び発酵食品への応用 ・医療用器具のデザイン化への研究開発 ・魚由来のヘム鉄を原料としたメンタルサポートサプリメントの開発 ・腸内フローラの改善を目指した高機能性柑橘加工品の開発 ・竹パウダー肥料を用いた地域ブランド農作物の開発 ・三保地下水を用いた地域ブランド農作物の開発 ・「静岡のバラ」ブランド化に向けた8ラ抽出エキスの事業化とその関連製品の開発 <p>■委託期間：委託締結日（平成28年7月7日）～平成29年2月28日</p> <p>■成果発表：平成29年3月17日</p>
					補足事項	進捗率等
	H29.3.31 現在	(産学共同研究数) 8件	117 (%)			
	成果目標	6件/年		事業評価	事業結果	<p>【産学交流センター】</p> <p>■地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 8件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規な燻製レトルト黒はんぺんの開発 ・竹粉の乳酸発酵技術の開発及び発酵食品への応用 ・医療用器具のデザイン化への研究開発 ・魚由来のヘム鉄を原料としたメンタルサポートサプリメントの開発 ・腸内フローラの改善を目指した高機能性柑橘加工品の開発 ・竹パウダー肥料を用いた地域ブランド農作物の開発 ・三保地下水を用いた地域ブランド農作物の開発 ・「静岡のバラ」ブランド化に向けた8ラ抽出エキスの事業化とその関連製品の開発 <p>■委託期間：委託締結日（平成28年7月7日）～平成29年2月28日</p> <p>■成果発表：平成29年3月17日</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流			
		大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
		中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進			
	産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい研究テーマの洗い出し ・研究の進捗管理の仕方 ・アフターフォローの充実性 	
基本方針		01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
基本施策		01 戦略産業の育成・集積を推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)			